

# カヤの平等生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局北信森林管理署
所在地	長野県下水内郡栄村
面積	1,399.83ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	台倉山の東南斜面に広がるカヤの平一帯のブナ林は、典型的な日本海型ブナ植物群落である。また、烏甲山は、東、南斜面が切り立った断崖状を成し、赤色の岩肌が露出した特異な景観を呈しており、周囲に亜高山性針葉樹林が広がり山頂付近に高山植物群落が分布している。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



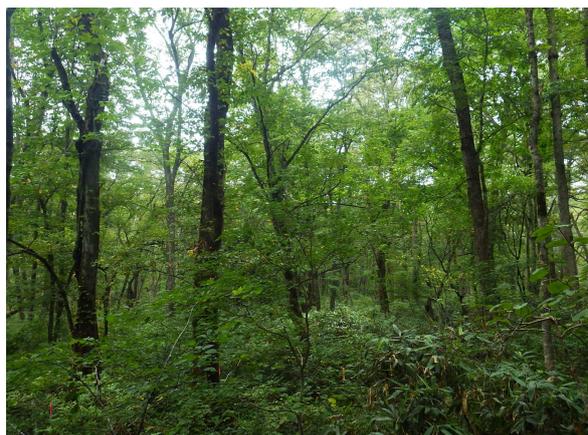
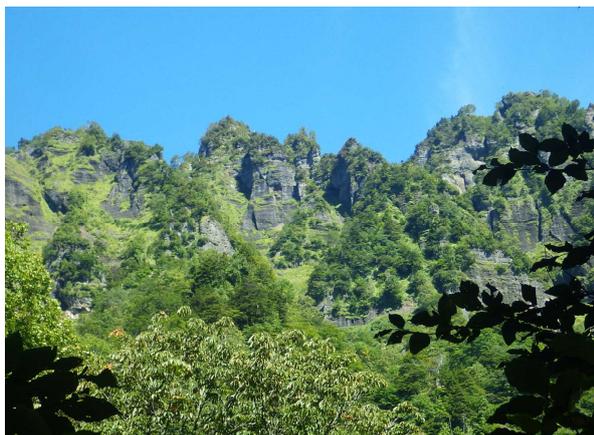
## モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、森林の踏査調査
調査手法	ブナ林に設定された調査プロットにおいて、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。保護林内を踏査し、樹木・下層植生の生育状況や病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、大きな変化は見られず、保護林の健全性は維持されていると判断された。ただし、ニホンジカのものと思われる糞が確認されており、現状では植生被害は見られないものの、生息密度が増加するにつれ植生被害が顕在化する恐れがあるため、今後もモニタリングの継続が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 戸隠山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局北信森林管理署
所在地	長野県長野市戸隠
面積	1,889.47ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	戸隠山麓にはアカショウビンをはじめ、34科103種の鳥類の生息が確認され、多種多様な野鳥が豊富に生息するとともに、スギ、カラマツの人工林とハルコシ、ヤチダモ、シラカバ、ウラジロモミ等から構成される天然林があり、これら生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



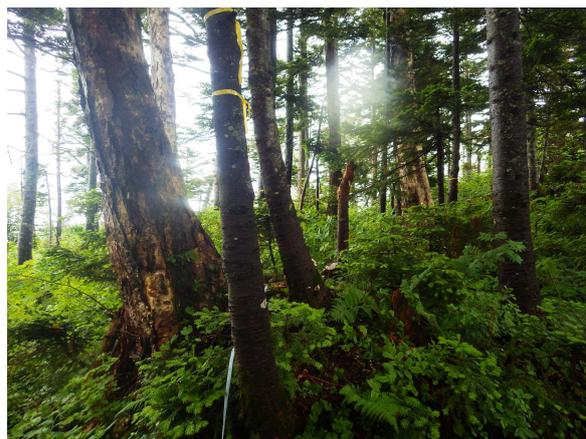
## モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、踏査調査、鳥類調査
調査手法	保護林内に調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。保護林内を踏査し、樹木・下層植生の生育状況や病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。ルートセンサス・定点観察調査を実施し鳥類相を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、大きな変化は見られず、保護林の健全性は維持されていると判断された。ただし、イノシシ及びツキノワグマによるミズバショウの食害がプロット内外で多数確認され、また森林植物園内でニホンジカが確認された報告もあり、注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

# 苗場山湿原生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局北信森林管理署
所在地	長野県下水内郡栄村
面積	1,327.14ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 (設定目的)	苗場山の西、南斜面の一角には、我が国でも有数の規模の高層湿原、雪田植生、高山草原等がある。また、大岩山は、東西及び南北に伸びる尾根筋に、安山岩の方状節理が発達し、切り立った断崖状の特異な景観を呈するとともに、広大な苗場山湿原の先端部となっている。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



## モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、高山植生調査
調査手法	オオシラビソを中心とした群落に設定された調査プロットにおいて、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。高山植生帯に調査プロットを設定し、植生の種組成の概要を把握。
結果概要	尾根上の調査プロットで季節風の影響と推定されるオオシラビソの立ち枯れが確認されたが、その他の調査プロットでは大きな変化は確認されず、湿性植物の生育状況にも変化が見られなかったことから、保護林の健全性は維持されていると判断された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。